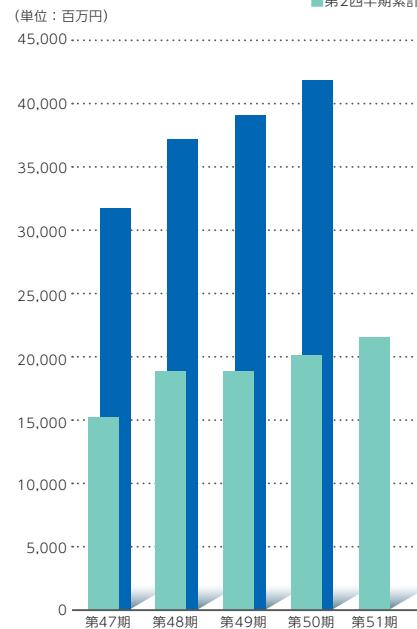


業績ハイライト(連結)

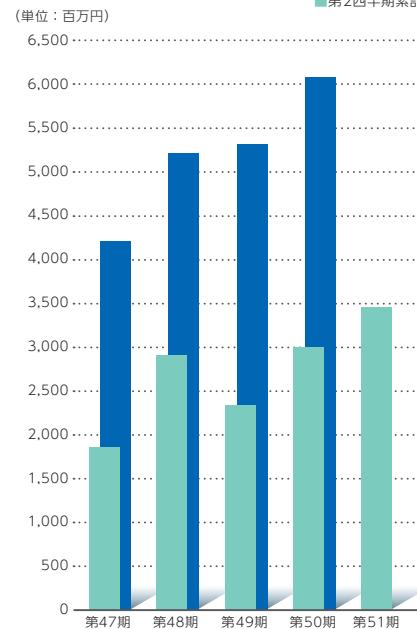
区分	期別	第48期 (2017年3月期)	第49期 (2018年3月期)	第50期第2四半期 (2019年3月期)	第50期 (2019年3月期)	第51期第2四半期 (2020年3月期)
売上高(百万円)		37,194	39,065	20,144	41,856	21,520
経常利益(百万円)		5,208	5,318	3,001	6,090	3,456
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益(百万円)		3,087	3,361	1,778	3,838	2,048
1株当たり 四半期(当期)純利益(円)		277.78	302.46	160.05	345.39	184.30
総資産(百万円)		55,537	57,629	58,864	60,302	61,808
純資産(百万円)		27,121	29,633	30,849	32,334	33,821

※当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

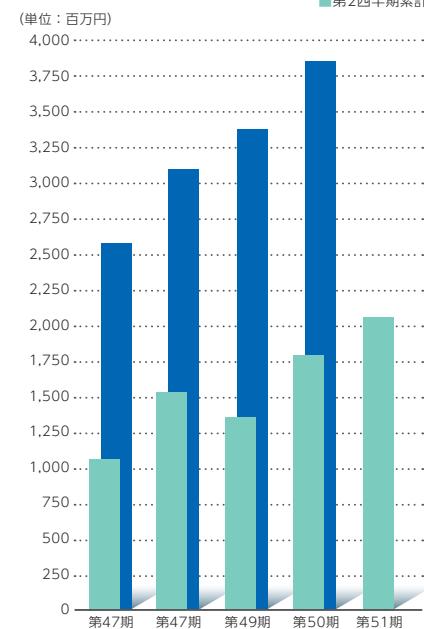
売上高の推移



経常利益の推移



親会社株主に帰属する 当期純利益の推移



免責条項 本報告書で記述されている通常の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

当上半期の業績について

当上半期のユニットハウスのレンタルは、首都圏を中心とした再開発工事や本格化してきた東京五輪関連の建設などを背景に受注活動に積極的に取り組み、出荷棟数・稼働棟数ともに高い水準で推移し、連結売上高は前年同期比3.5%増となりました。

ユニットハウスの販売については、全国への展示場の拡充を継続して進めており、店舗数は200か所に迫ってまいりました。ホームページを活用した受注活動も積極的に進め、現実の店舗との相乗効果が出せるよう取り組んでおり、連結売上高は前年同期比11.8%増となりました。

トランクルームのレンタルについては、継続してWEB広告の強化等による収益力の向上を図っております。新規出店も進め400店舗を超える店舗数となり、連結売上高は前年同期比9.5%増となりました。設備やワークスペースを設けた店舗を実験的に開設するなど、事業拡大に取り組んでおります。

並行して生産供給体制の改善や製品改善に取り組むなど収益力の向上を図っており、売上総利益は9,226百万円(前年同期比10.4%増)、売上総利益率も42.9%となるなど、安定して推移しております。

これらの結果、当上半期の連結売上高は21,520百万円(前年同期比6.8%増)となりました。

利益面におきましては、営業利益3,461百万円(前年同期比16.6%増)、経常利益3,456百万円(前年同期比15.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,048百万円(前年同期比15.1%増)となりました。

財政状態も引き続き安定して推移しております。レンタル資産の増加等により、総資産は前期末に対し1,506百万円増加し61,808百万円となりました。純資産の合計額は前期末に対し1,486百万円増加し33,821百万円となり、自己資本比率は54.7%となっております。

今後とも、ユニットハウスの特長を活かしたニーズの開拓と事業開発に取り組み、業績の向上に努めてまいります。



仮設レンタル物件



学童施設外観



学童施設内観



姫路工場外観